

モジュール14

ファンベース構築とメンタル面の疲弊を防ぐ運用法

【ワークの目的】

SNSという「広場」で数字を追って疲弊する運用を卒業し、クローズドなメディア（LINE・メルマガ）を活用した「聖域（サンクチュアリ）戦略」を構築します。繊細なアーティストの感性を守りながら、10人の「パトロン」と深くつながり、一生食べていくための強固な防波堤を築く技術を習得します。

【Q1：仕組みによる意識の書き換え】

（AIワーク1：LINE登録を促す「デジタル特典」のアイデアの結果を受けて）

LINE登録のきっかけとなる、コストをかけずに作成できる5つのデジタル特典案を読み返してください。

- これまで、SNSの「毎日投稿」の呪縛や「フォロワー数」という数字に縛られ、自分の価値が否定されているような感覚に陥ってはいませんでしたか？アルゴリズムに左右される「広場」から、確実に情報を届けられる「聖域」へとファンを招き入れる仕組みを理解したとき、数字に対する強迫観念はどう変化しましたか？

- 美術館に「閉館時間」があるように、SNSと距離を置き自らの「審美眼」と集中力を守る勇気を持ったとき、明日からの創作時間はどのような「静かな情熱」に満たされると感じますか？具体的に書き出してください。

【Q2：学芸員視点による価値の再定義】

（AIワーク2：温かみのある「コミュニケーション・テンプレート」作成を受けて）

DMや購入時のお礼メールなど、丁寧かつ温かみのある表現で定型文化した文章を確認してください。

- AIによって整えられた「誠実な言葉」の数々を眺めたとき、あなたがこれまでファンに伝えきれていなかった「感謝」や「美意識の共有」のポイントはどこにあると感じましたか？

- 「学芸員の視点」を用いて、弱さの開示や特別扱いといったコミュニケーションに組み込むことで、あなたはファンとの間にどのような「深い信頼残高」を積み上げていきたいと感じましたか？ あなた自身の言葉で、その「狭く深い」つながりの価値を語り直してください。

【Q3：理想の未来と社会への貢献】

(AIワーク3：理想の支援者「パトロン」のペルソナ詳細設計を受けて)

あなたの作品を年に2回必ず購入してくれる「理想のパトロン」の詳細なプロフィールを読み返してください。

- 1000人の薄いフォロワーではなく、あなたの「聖域」に招き入れた10人のパトロンに対し、あなたの作品はどのような「救い」や「心の安らぎ」を与えていますか？

- あなたが「8割運転」でサステナブルに活動を続け、心の余裕を持って創作に没頭することは、あなたを支えるパトロンや社会に対して、どのような「質の高い美の提供」に繋がると確信していますか？

- あなたの存在そのものが誰かの「癒やし」となる未来において、あなたがプロとして果たしたい「精神的な支援」の形を記述してください。

【本日のプロフェッショナル宣言】

風茜の教えと本日の内省を経て、あなたがプロとして一生守り抜くと決めた信念を清書してください。

「私は、学芸員視点の（ ）を磨き、自らの表現を通じて（ ）
という価値を、大切なファンと共に守り続けることを誓います」